

和光市政を耕す

たがや

市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL.

16

たけちゃん通信



無所属

平成26年
6月定例会
議会報告

平成26年和光市議会6月定例会(議会)が、6月5日(木)より会期19日間の日程で開会し6月23日(月)に閉会致しました。報告第1号、第2号、議案24号から議案40号が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日(土日を除き)以降に配信することになっています。

文教厚生常任委員会

今定例会(議会)において、文教厚生常任委員会に付託された議案は、議案第33号から議案第37号、議案第40号が付託されました。議案第33号から議案第37号については、来年度から始まる、子ども・子育て新事業に対する条例を定めるための議案でした。

☆私はこれまで平成27年4月より施行される「子供・子育て支援制度」について常に一般質問し、平成27年4月に予定通りに施工できるようにと伝えてきました。また、和光市の待機児童の状況は、埼玉県内で5番目に多いことが新聞で報じられています。今回の条例、議案第33号から議案第37号については、新制度が順調に進むことと、待機児童解消、公平に新制度の認定が受けられるための条例であります。そのようなことから私は、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号について賛成討論を致しました。



既に全国から注目を集めている和光市の介護保険事業に続き、同じ考え方で新制度に対応することで、子ども・子育ての分野においても、先駆的に取り組まれることを期待しています。

吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



中学校クラブ活動外部コーチについて

【質問】 和光市立中学校部活動指導員派遣事業実施要綱が、平成14年から施行されています。この派遣事業は、教育委員会が外部コーチを募集・登録・管理し、必要に応じて各学校に派遣しているのか?

【答弁】 校長の推薦と申請に基づいて委嘱を行っています。

【質問】 指導員によっては、指導の仕方に差があると思います。指導者のための教室などを開催し、指導者間の情報交換、指導者のレベルアップ、指導者の育成につながる教室などを行うことは出来ないか?



【答弁】 ご提言いただいた取り組みは本当に必要と思っております。今後検討していきます。

【コメント】 顧問教員とクラブ活動外部コーチが連携をすることで、技術面のサポートだけでなく、顧問教員にも心の余裕が生まれ、負担が軽減できると思います。教育委員会が主体となって外部コーチの活用を行うことにより、部活動の活性化が期待されます。今後も教育委員会で、外部コーチを募集し、人材バンクなどを作って頂き、管理し、各学校の要望にあった外部コーチの派遣を行って頂きますようお願い致しました。



部活動などのサンアゼリア使用料について

【質問】 今年度からサンアゼリアの使用料が改定されましたが、中学校など部活動の料金改定はどのようなものでしょうか？

【答弁】 中学校の部活動等でサンアゼリアを使用する場合は、従来より使用料は徴収していません。次年度以降については、所管課と文化振興公社で検討を進めています。教育委員会としては、サンアゼリアの使用料の見直しに当たり、引き続き、中学校の部活動が円滑に出来るように、必要な対応をしております。

【コメント】 子どもたちの才能を伸ばすには、やはり発表の場が必要だと思えます。是非今まで通りに使用できるようにして頂きますようお願い致しました。



避難所の設備・エネルギーについて

【質問】 和光市地震被害想定調査において、和光市に最も影響が大きいと考えられる東京湾北部地震が発生した場合、和光市において想定される被害は、全壊996棟、半壊棟数2,670棟と想定され、生活支援が必要な避難者数は、1日後、約15,000人、4日後、約9,000人、1ヶ月後、約7,000人を想定されています。和光市のライフラインの復旧に要する日数は、電力6日、通信15日、都市ガス55日と想定されています。LPガスについては想定されていません。東日本大震災のときにいち早く復旧したのが実はLPガスでした。震災時には、LPガスを活用し、発電機を利用し必要最低限の電気確保や温かい食事の提供、簡易暖房機の利用ができ、一朝有事の際はLPガスが有効であると思っております。そこで避難所へ災害対応バルクユニットを設置し、避難所の機能強化を行っておくことが必要であると思えますが？

【答弁】 避難所となる学校施設の防災機能強化を目的とした災害対応バルクタンクというのは、地震の際にも倒れにくいことなど、大変有効であると考えております。しかし、学校施設にこの大型のタンクを設置することは場所もかなり必要となると考えます。まずは防災倉庫の拡充を図って行きまして、目標とする設置が終了した後、災害バルク等、災害時のエネルギー設備について、設置費用や設置場所・維持管理などのコスト面や、使用時間などの実用面等を研究してまいります。

【コメント】 公共施設イコール避難所です、一朝有事の際は避難所だということを認識すれば、当然都市ガスよりはその災害対応バルクタンクを導入しておいたほうが良いというふうに思います。今、災害があったときのリスクを分散させておくことが大切です。いつ来てもおかしくない地震災害に備えて、災害対応バルクユニットの設置は、大変有効だと思います。1日も早く災害対応バルクユニットを設置して頂きますようお願い致しました。



新設校の空調と給食室について

【質問】 新設校のエネルギーは都市ガスを使用するとのことですが、新設校も災害時には、一時避難所としての役割を果たす施設とするとなっております。また、新設校地域は防災マップで液化化が起こる地域と想定されています。そのような地域で、都市ガスの使用を決定したことに疑問に思います。私は、一時避難所としての役割を果たす施設とするなら、LPガスの活用が一番と考えますが？

【答弁】 今後の実施設計において、より信頼性の高い中圧導管による都市ガスを検討してまいります。社会的に優先度の高い需要先への中圧供給では、阪神淡路大震災レベルの災害に対しても、供給が継続して停止となるリスクは低いと考えております。

【質問】 一時避難所という位置づけの中で、最低限は都市ガスだけに頼らず、LPガスなどエネルギーを分散させておくことは、必要な災害対策かと思います。そのような観点から、災害対応バルクの設置をしておくことが大切だと考えますが？

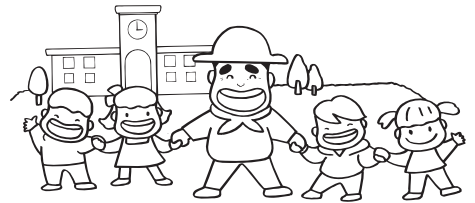
【答弁】 ランニングコストや環境性能のみではなく、安全性や供給の安定性などによる検討結果も踏まえて、災害発生時に想定される様々な状況に対応できるように整備してまいります。

【コメント】 安全性や供給の安定性などによる検討結果も踏まえて、災害発生時に想定される様々な状況に対応できるように整備してまいります。との答弁ですので、避難所という位置づけの中で、最低限は都市ガスだけに頼らず、LPガスなどエネルギーを分散させておくことが大切です。また新設校は、和光市のシンボルになる学校建設を目指しています。地域の方々はいろいろな面で、施設・設備が充実している、安心・安全な学校、いざという時に避難所として安心して活用が出来ることを期待しています。出来る限りの設備をして頂き、素晴らしい施設にして頂きたいとお願い致しました。



小学校建設、今現在の進捗状況と今後の計画について

【質問】 小学校建設は、年内に施工業者を決定し、年度内に工事が着工出来るように進んでいます。私が一番懸念しているのは、資材の高騰や人手不足で、入札不調が増えていることです。埼玉県では、昨年4月から12月に行った埼玉県における公共施設の入札不調、不落率が14.9%と例年の2倍でした。当市の小学校建設は、とてもタイトなスケジュールで行われていると思います。このようなことについてのお考えをお伺い致します？



【答弁】 新設小学校の建設として、厳しい建設工期を踏まえるなかで、入札の不調を回避するために、災害復興事業に伴う建設需要の増加や資材の上昇、人材確保の困難による労務費の上昇などにも対応できる設計金額の積算を、設計事務所とも検討していきます。

【コメント】 新設小学校は、市のシンボルとして考えられています。リスクがある分離発注でなく、一括発注を検討しているようですが、出来る限り市内業者のかかわりを考えて頂きたいのと、タイトなスケジュールで工事が行われることにより、ずさんな建設が行われなように、しっかりとした監督・検査体制も必要ではと思います。また予定通り平成28年4月に開校出来ますようにお願い致しました。



認知症対策について

【質問】 厚生労働省では、平成25年から29年度までを計画期間とする「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」を実施し、各市町村の取組を求めています。認知症対策を効果的に行うためには、市内の高齢者の現状を的確に把握することが重要だと考えますが、和光市が行っている日常生活圏域ニーズ調査では、認知症のリスクを有している高齢者をどのように把握しているのか？

【答弁】 和光市では、毎年実施しているニーズ調査がございますが、調査項目には基本チェックリストの認知症予防・支援に係る設問と、認知機能の障害程度の指標として有用とされるCPS(Cognitive Performance Scale)に準じた設問があり、回答結果から、軽度認知症を有する方を把握することにより、アウトリーチ的な支援が可能となり、早期発見へと繋がっております。

【質問】 認知症の患者は、症状が悪化してしまうと、家族との関係悪化や、家族の負担の増大、病院への長期入院などが避けられなくなって来ます。しかし、早期発見、早期治療を行えば、症状の悪化を防ぎ、本人の意思を尊重しながら支援策を講じ、在宅生活を続けられる可能性もあります。そこで、ニーズ調査や、地域の見守り活動等を通じて把握した認知症のリスクを有する高齢者に対して、どのような取組により対応しているのか。

【答弁】 個別記名式のニーズ調査により、早期発見できた認知症のリスクを有する高齢者に対しては、個別に地域包括支援センターからアウトリーチ的対応を行い、多職種によるチームケアによりケアマネジメントを実践し、「脳力あつぷ」、「あくていびていあつぷ」のような複合プログラムの地域支援事業への参加に繋げています。また、個別のケアプランをコミュニティケア会議を通じて、調整・支援することにより、地域に必要なサービスや基盤整備など地域課題を把握することができ、それらを長寿あんしんプランに反映させています。



今後の取組の方向性について

【質問】 オレンジプランの主な取組事項として、「早期診断・早期対応」、「地域での生活を支える介護サービスの構築」、「地域における支援の強化」などが掲げられています。認知症対策についても、地域包括ケアシステムの構築と連動した取組が求められています。これまでの和光市の取組やオレンジプランの取組事項を踏まえ、第6期計画では認知症対策をどのように位置付けるのか、また、今後の認知症対策の方向性について伺います。

【答弁】 和光市では、国が定めた認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）の趣旨に沿って進めてきた、ニーズ調査結果による早期発見、地域別の認知症リスク等の把握、解決するためのサービス提供基盤整備の実施等の取り組みを継承し、住み慣れた地域で認知症の状況に応じた適切なサービス提供ができるよう地域包括ケアシステムの更なる機能化を図るとともに、人材育成により市職員や地域包括支援センター職員の認知症対策の専門性を高め、「認知症初期集中支援チーム」を設置するなどの取組を含め、施策の充実を図るため、「認知症ケアパス」を第6期計画で位置づけて参ります。

【質問】 認知症対策は、高齢者が暮らす地域での取り組みが重要になります。市が行う施策に加えて、地域が認知症高齢者を支える仕組みづくりを、市はどのように支援していくのか？

【答弁】 認知症施策の推進には、認知症に対する正しい理解が必要となります。従来から実施している、認知症サポーター・介護予防サポーターを引き続き養成していくことにより、地域における認知症高齢者に対する支援体制の充実を図っていきます。

【コメント】 答弁により、和光市の認知症対策の方向性、特に、地域で認知症高齢者を支える仕組みや考え方を確認することができました。認知症の早期発見に関しては、全国の自治体で、様々な取組が行われています。私の提案として、認知症の簡易判断のための問診や、記憶力テスト、認知症の初期症状を、自己判断できるチェックシートなどを作成して配布するなどの取組や、早期診断によって発見された、初期段階の方に対する支援の取組として、患者の方、その家族や介護の専門家が交流したり、情報交換を行う場として、公民館や介護施設などを利用した、認知症カフェなどの取組事例もあるようです。和光市でも、同様の取組が先進的に進められているところですが、新たな取組の実施も視野に入れ、第6期介護保険事業計画では、認知症対策を更に充実して頂きますようお願い致しました。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

c o m m u n i t y i n f o r m a t i o n



和光市議会議員 吉田たけし

< 4 つ の 柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保護者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区画整理事業の早期完成を目指します。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会

会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1

TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
http://www.takechan-yoshida.jp

お名前 _____

ご住所 _____

ご連絡先電話番号 _____

携帯 _____

メールアドレス _____